

鹿嶋市立鹿島中学校

# THE コンプライアンス研修報告

1 場 所 鹿島中学校 図書館

2 日 程

- ・15:50～15:55 校長先生からの説明
- ・15:55～16:15 グループ別研修(20分)
- ・16:15～16:25 各グループからの発表(10分)
- ・16:25～16:30 総括
- ・16:30 閉会

3 研修の進め方

(1) 校長先生からの資料説明及び教育長緊急メッセージの音読

- 教育長緊急メッセージ
- 【茨城県】過去12年間(H17～28)における懲戒処分状況について
- 【文科省】H27人事行政状況調査・わいせつ行為等に係る懲戒処分等の状況
- よりよい職場環境づくりのために(教育は「信頼」の上に成り立つ)
- 信頼される学校であるために(わいせつ行為の根絶)
- わいせつ行為に係る不祥事の根絶に向けて【今後の研修計画】



(2) 各グループで司会、発表者を決める。

A	B	C	D	E	F	G
木滝忠	◎ 栗	菊 巒	◎ 篠塚	宮 本	◎ 黒澤和	境 田
平 山	◎ 石津	◎ 三原	富 塚	◎ 茂手木	鈴 木	◎ 諸 星
◎ 高 森	伊 藤	◎ 田 村	◎ 石 村	矢 島	西 尾	◎ 徳 宿
◎ 矢 幡	西 川	遅 澤	佃	◎ 下 山	◎ 須 藤	小 牧

(3) 下記のテーマについて、各グループで協議する。

資料を参考にし、わいせつ行為の根絶に向けて、どのような取組を行っていったらよいか。

(4) 個人検討のタイム(付箋に自分の考えを記入する)



(5) グループ検討タイム(10分)

- ① KJ法を使い、付箋を類型化しながら積極的に話し合いをする。
- ② 主な取組をグループ内でまとめる。



(6) 各グループからの発表(協議したことを1分以内で報告する)



(7) 発表内容

班	メンバー	発表内容
A	木滝忠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1対1の対応はせず、チームで対応</li> <li>・ボディタッチ、メール、電話(個人的)等は絶対にしない。</li> <li>・教職員間の同僚性の構築</li> <li>・定期的なチェックテストの実施</li> </ul>
	平山	
	◎高森	
	◎矢幡	
B	◎栗	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1対1の対応はしない。</li> <li>・各自の居場所を明確にするなど、コミュニケーションを活性化させる。</li> <li>・指導法等の交流を図る。</li> <li>・身体的な表現や触れるのはNG。</li> <li>・法の自覚をもてる研修の実施</li> </ul>
	◎石津	
	伊藤	
	西川	
C	菊巒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導の場を固定し、オープンにする。</li> <li>・ケータイでの連絡等の整備</li> <li>・教員間のコミュニケーションの活性化を図り、メンタルヘルスのチェックを行う。</li> <li>・定期的なセクハラアンケートの実施</li> <li>・監視カメラの設置</li> </ul>
	◎三原	
	◎田村	
	遅澤	
D	篠塚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1対1の対応はせず、複数対応</li> <li>・校内巡視の強化</li> <li>・校内研修の充実</li> <li>・教師自ら社会人としての常識の意識化(外見、言葉遣い等)</li> </ul>
	富塚	
	◎石村	
	佃	
E	宮本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の体に触れない。</li> <li>・ケータイ、メール等では連絡しない。</li> <li>・指導の際は、複数で行う。</li> <li>・教師が一人である状況をつくらない。</li> <li>・家族との触れ合いを大切にする。</li> <li>・プライベートな時間を大切にし、ストレスの解消に努める。</li> </ul>
	◎茂手木	
	矢島	
	◎下山	
F	◎黒澤和	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1対1の指導は避ける。</li> <li>・生徒との個人的なやりとりはしない。</li> <li>・男女を問わず、親しい仲でも触らない。</li> <li>・教職員間では、声をかけ合い、適度に会話できるような雰囲気づくりをする。</li> <li>・酒席では、乱れない。</li> </ul>
	鈴木	
	西尾	
	◎須藤	
G	境田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導等をする際は、適度な距離に配慮し、心の距離もコントロールする。</li> <li>・学年会等でもわいせつ行為の根絶について取り上げ話し合う。</li> <li>・部活動に関しては、男子顧問は男子の部活、女子顧問は女子の部活に固定する。</li> </ul>
	◎諸星	
	◎徳宿	
	小牧	

共通項目

【生徒に対して】

- ◇1対1の対応はせず、複数で対応する。
- ◇ケータイ、メール等では、生徒と個人的なやりとりはしない。
- ◇男女を問わず、生徒の体に触れたり身体的な表現は避ける。
- ◇定期的なセクハラアンケートやチェックシートを実施して、実態把握の強化に努める。

【教職員に対して】

- ◇定期的な校内研修の実施
- ◇教職員間のコミュニケーションの強化を図り、和やかな雰囲気づくりに努める。
- ◇**学年会等でも、わいせつ行為の確認を定期的に行うようにする。**
- ◇家族との触れ合いやプライベートな時間な時間を大切にし、心にゆとりがもてるようにする。

【実践項目】

学年会で、わいせつ行為防止のチェックシートを実施し、活用しながら話し合い、確認する。  
(月2回実施)  
※チェックシートは、資料P7参照



(8) 総括

- わいせつ行為は、誰にでも起こりうる問題である。自分には関係ないと思わず、教職員一人一人が意識化を図ることで予防につながる。
- わいせつ行為は、理性のコントロールを失ったときに引き起こされる。人間には誰でも性的欲求がある。普段はそれを理性でコントロールしている。
- 教師という職業は、子どもたちの人間性を育む使命がある。